

具体的事例

知的資産経営に取り組んでいる企業の知的資産経営報告書です。



<事例>

事業価値を高める経営レポート (知的資産経営報告書)

平成20年7月

株式会社仁張工作所

事業価値を高める経営レポート

商号: 株式会社仁張工作所

2008年7月作成

《経営理念(企業ビジョン)》

1. 私たちは板金加工を通じて良い商品を社会に提供し、安全で快適な生活空間を創造します。
2. 私たちはお客様の満足を通じて仕事に誇りを持ち、より良い生活を実現し、働きがいのある会社作りに努力します。
3. 私たちは常に新しい板金加工技術について積極的に学び、自分のものとして共有化することによって、技術レベルの高い信頼される会社を目指します。

《企業概要》

【代表者】仁張 正之
 【住所】〒578-0921 大阪府東大阪市水走3-14-6
 【電話番号】072-962-2831
 【業種】別注スチール及びステンレス家具製造、板金加工
 【資本金】10,000(千円)
 【従業員数】86名
 【最新業績】1,260(百万円), (2007年12月期)
 【URL】http://www.nimbari.co.jp

《沿革》

1964年10月 仁張工作所創業。(49年法人化)
 1986年 7月 一貫生産可能な本社工場を新築。
 1996年 3月 仁張正之が代表取締役役に就任。
 2005年 1月 新生産管理システムを導入

《受賞歴・認証・資格等》

2000年 3月 ISO9001(当初ISO9002)認証取得。
 2004年11月 エコアクション21を認証取得。
 2007年 4月 大阪府中小企業家同友会「経営品質大賞」受賞。
 2007年12月 東大阪商工会議所優良企業表彰受賞。

《外部環境》

【機会・脅威】

【機会】

- ・消費者ニーズの多様化による特注スチール家具の需要増。
- ・インターネットの普及による商流の多様化。
- ・環境対応への意識の高まり。

【脅威】

- ・郵政民営化による郵便局からの受注減少。
- ・大手メーカーの生産拠点を海外移転。(産業空洞化)
- ・原材料価格の高騰。

【業界概観と自社のポジション】

板金加工業。業種柄、得意先となる完成品メーカーの需要動向によって業績が大きく左右される側面がある。特に当社の立地する東大阪市は中小製造業の密集地で、同業は8社ある。

当社は、創業来主力顧客の要請に応じる形で、精密板金加工の技術を高めてきたことにより、オリジナル商品の筐体や板金部品、別注・特注商品を得意とし、主力固定客を確保している。一方で、近年はHPを通じた自社製品にも注力し、独自の地位を築いている。

《内部環境とビジネスモデル》

【ビジネスモデル】

【企画開発】

- ・顧客との綿密なすり合わせによる特注品の企画設計
- ・蓄積技術・ノウハウによる自社製品企画

【仕入・調達】

- ・既存供給先・協力先との継続的な取引による関係構築

【製造】

- ・設計、機械、溶接組立、塗装、仕上各工程の一貫生産体制
- ・充実した品質管理体制・改善提案活動の取り組み

【販売】

- ・営業部門と技術部門が一体となって対応する受注体制
- ・HPを活用した直販ビジネスの展開

【物流・サービス】

- ・継続的な顧客満足度調査に基づいた、顧客ニーズのフィードバック構築

【自社の強み】

【製品・サービスの特長・他社との差別化ポイント】

- ◆ ニーズに合わせて設計するオーダーメイド家具製品
- ◆ 企画・設計段階から関わるOEM製品、同部品

【経営課題】

【製品・サービスに関わる課題】

- ◆ 自社ブランドの進化
- ◆ OEM製品の付加価値向上

【技術・技能・ノウハウ・能力などの人材に関わる特長・差別化ポイント】

- ◆ 様々な分野に製品を提供することで高めた板金加工技術
- ◆ オリジナル製品・単品別注品の製造により培ってきた設計力

【社内体制(仕組み)等に関わる特長・他社との差別化ポイント】

- ◆ 全工程を一貫する多品種変量生産体制。
- ◆ ISO9001に基づく顧客満足度向上を目指した設計・開発管理体制。
- ◆ HPを活用した受注体制。

【顧客・仕入先等社外との関係に関わる特長・他社との差別化ポイント】

- ◆ 品質に関してフィードバックを受けることが出来る顧客との関係。
- ◆ 業種に偏りのない、様々な分野の顧客網。

【人材に関わる課題】

- ◆ 技術の社内伝承
- ◆ ニーズ対応力・開発・提案力向上

【組織に関わる課題】

- ◆ 品質レベルの更なる向上
- ◆ HPアクセス数の向上

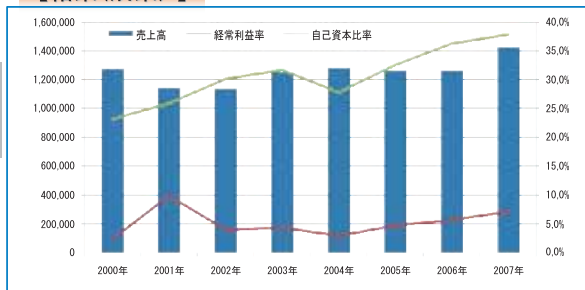
【外部関係に関わる課題】

- ◆ 更なる市場の創出(新規顧客獲得)

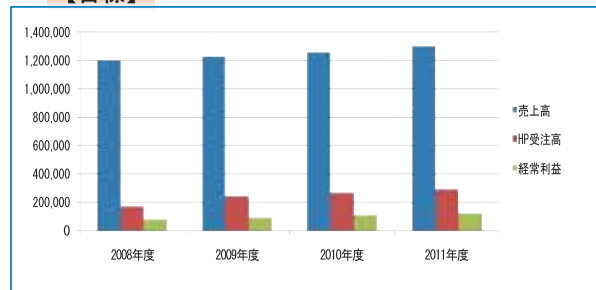
《価値創造のストーリー》



【結果(成果)】



【目標】

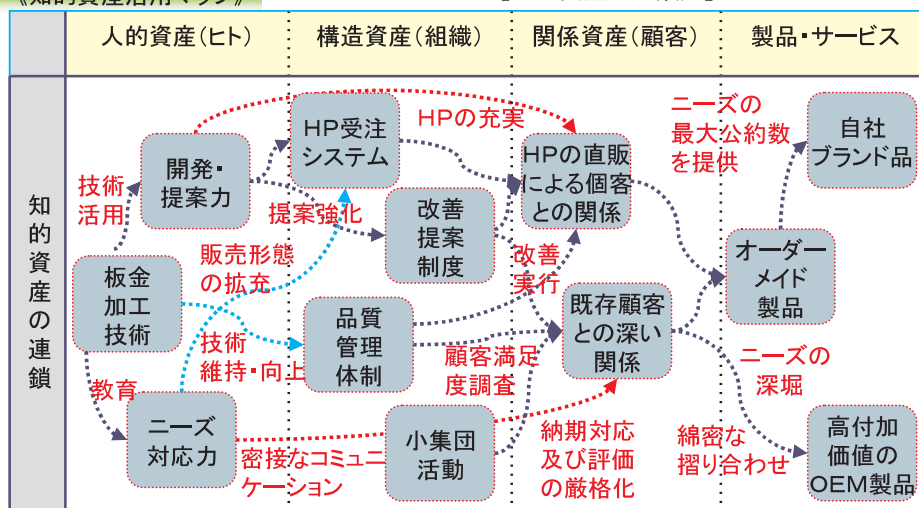


《今後のビジョン(方針・戦略)》

既存の仕事にとらわれずに、板金加工の専門家集団として、経営環境の変化に適応できる“揺るぎない組織”を目指す。

《知的資産活用マップ》

【知的資産の連鎖図】



【重要成功要因】

【ビジョン】

環境変化に適応できる揺るぎない組織の構築

板金加工の専門家集団

株式会社仁張工作所